

平成 29 年度

事業計画書・収支予算書

平成 29 年 4 月 1 日から
平成 30 年 3 月 31 日まで

公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟

平成 29 年度 事業計画

公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟（JAO）は、昭和 47 年の設立以来、全国のアマチュアオーケストラとその活動に携わる人々を支援する事業を推進してまいりました。

JAO の主な事業には、「全国アマチュアオーケストラフェスティバル」、「高円宮殿下メモリアル日本マスターズオーケストラキャンプ」、「トヨタ青少年オーケストラキャンプ」、「トヨタコミュニティコンサート」等があります。これらのどの事業も、「音の泉の広がり」を合言葉に、全国の仲間たちが演奏する喜びを分かち合いながら、各地のアマチュアオーケストラの振興を通じて、地域社会に貢献し、音楽文化の発展に寄与するものとなっています。

また、青少年から中高年齢層までの幅広い世代を対象とした JAO の事業は、青少年教育や、シニア世代のゆとりや生き甲斐づくりに貢献し、生涯学習社会の形成に寄与することを特色としています。

平成 29 年度に実施する事業の計画は以下のとおりです。

I. 運営の部

1. 理事会

- ① 平成 29 年度第 1 回通常理事会 平成 29 年 4 月 22 日（土） 於 上野精養軒
- ② 平成 29 年度第 2 回通常理事会 平成 30 年 2 月 24 日（土） 於 上野精養軒

2. 社員総会

平成 29 年度定時社員総会 平成 29 年 5 月 27 日（土） 於 上野精養軒

II. 事業の部

1. 全国アマチュアオーケストラフェスティバルの開催

「全国アマチュアオーケストラフェスティバル」は、JAO 設立の翌年（昭和 48 年）の豊橋大会を皮切りに、毎年全国各地を巡り開催しております JAO の主要事業です。

オーケストラ音楽を愛好する人々が集い、3 日間の日程の中で演奏技術の研鑽を積み、フェスティバルオーケストラとして演奏会を開催するほか、オーケストラ運営に資するためのフォーラムや研究討議等を行います。

また、JAO はフェスティバルを国際交流の場とすることにも取り組み、海外参加者を集いアジアフェスティバルや世界フェスティバルとしての開催実績を積んでおります。

<平成 29 年度実施計画>

名称	第 45 回全国アマチュアオーケストラフェスティバル刈谷大会
期間	平成 29 年 7 月 28 日 (金) ~ 7 月 30 日 (日)
会場	刈谷市総合文化センター アイリス
内容	<p>①フェスティバルコンサート (7 月 30 日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フェスティバルオーケストラ A 指揮：角田鋼亮 コンサートミストレス：水野佐知香 曲目：ガーシュウィン作曲 「パリのアメリカ人」 グローフェ作曲 組曲「グランドキャニオン」 ・ フェスティバルオーケストラ B 指揮：松尾葉子 コンサートマスター：近藤 薫 曲目：ラヴェル作曲 「ダフニスとクロエ」 第 2 組曲 ドビュッシー作曲 「海」 <p>②運営協議会 JAO 事業及び加盟団体の運営等に関する会議を開催</p>

2. マスターズオーケストラキャンプの開催

平成 12 年に第 1 回を開催した「高円宮殿下メモリアル 日本マスターズオーケストラキャンプ」(MOC) は、当初はシニア世代が交流を深めながら演奏技術を向上させるための研修会として開催してまいりましたが、第 12 回より年齢による制限をはずし、各オーケストラの現リーダーや、次世代を担うリーダーを養成することも MOC の重要な役割となりました。

第 2 回 MOC にご来臨くださいました当時の JAO 総裁 故 高円宮殿下は、MOC に格別のご関心を示されておりました。MOC の前途に大きな期待を抱かれていた殿下のご遺志を尊重し、MOC の名称に「高円宮殿下メモリアル」を冠しております。

<平成 29 年度実施計画>

名称	高円宮殿下メモリアル第 18 回日本マスターズオーケストラキャンプ
期間	平成 30 年 1 月 6 日 (土) ~ 8 日 (月・祝)
会場	京都府立府民ホール アルティ
内容	<p>講師：森田昌弘 (NHK 交響楽団) 御法川雄矢 (NHK 交響楽団) 藤森亮一 (NHK 交響楽団)</p> <p>曲目：未定 ※1 月 8 日に「初春コンサート」を開催</p>

3. 青少年オーケストラキャンプの開催

「トヨタ青少年オーケストラキャンプ」(TYOC)は、全国から集まった青少年が「自分たち自身の手による運営」をモットーに演奏技術を学ぶ合宿研修会です。現在は2年を1期とし、2年目には「日本青少年交響楽団特別演奏会」として成果を発表しています。次代を担う青少年が一流の講師陣の指導のもと、音楽技術の向上を図り、各自の所属するオーケストラの未来のリーダーとなるべき資質を養います。

昭和60年の第1回から昨年度の第32回まで、TYOCから巣立った青少年は延べ5,500名を超え、我が国のアマチュアオーケストラの中核を担う人材として全国各地で活躍中です。

<平成29年度実施計画>

名称	第34回トヨタ青少年オーケストラキャンプ
期間	平成30年3月28日(水)～31日(土)
会場	岐阜市少年自然の家、長良川国際会議場メインホール「さらさ～ら」
内容	指揮：井崎正浩 (ハンガリー・ソルノク市音楽総監督) 講師：三浦章宏 (Vn 東京フィル) 他17名 以上予定 曲目：スメタナ作曲 交響詩「モルダウ」 ドヴォルザーク作曲 チェロ協奏曲ロ短調 (ソリスト未定) バルトーク作曲 管弦楽のための協奏曲 ※3月31日に「さらさ～ら」にて「日本青少年交響楽団特別演奏会」を開催

4. トヨタコミュニティコンサートの開催支援

「トヨタコミュニティコンサート」(TCC)は、“音楽を通じて地域文化の振興に貢献すること”を目的に、トヨタ自動車株式会社並びに各地域のトヨタ販売会社グループと連携し、JAO加盟のオーケストラの公演を支援して開催される演奏会で、次の3つの方式があります。

A1方式は、地域ニーズを反映し、オーケストラにとってチャレンジングで、地域への広がりを持つ企画内容の「チャレンジ公演型」コンサート。

A2方式は、山間部や離島あるいは福祉施設など生演奏を聴く機会の少ない方々のもとへの「移動・訪問型」コンサート。

B方式は、生演奏を聴く機会が少ない児童や高齢者、障害のある方などを招待する「招待型」コンサートです。

昭和56年の第1回開催から平成29年3月までの35年間の公演回数は、1593回を数えます。

平成29年度は、A1方式(チャレンジ公演型)2公演、A2方式(移動・訪問型)9公演、B方式(招待型)29公演の開催を予定しています。

5. ホームページを活用した広報活動の推進

JAO は、活動方針、年間事業、全国各地のオーケストラの活動状況、国際交流事業等、広範囲にわたる情報を収集し、ホームページにて提供しています。国内の地域活動はもちろんのこと、世界のアマチュアオーケストラに関するホームページにもリンクしています。

平成 29 年度も、会員及び提携する団体等からの情報収集に積極的に取り組み、収集した情報をホームページにて随時広く一般に提供してまいります。

6. 国際交流活動の推進

JAO は、平成 10 年の「世界アマチュアオーケストラ連盟」(WFAO) 結成において中心的な役割を果たし、世界各国のアマチュアオーケストラの活動と交流を幅広く支援する組織として平成 19 年に設立された「認定 NPO 法人世界アマチュアオーケストラ連盟」(NPO-WFAO) と積極的に提携し、国際交流活動を推進しております。

平成 29 年度は、「ドイツアマチュアオーケストラ連盟」(BDLO) と JAO との提携により、BDLO が主催する「オーケストラのためのワークショップ」(於 ドイツ連邦共和国・ハンメルブルク 6 月開催) に JAO から 10 名(予定)が参加し、JAO が主催する「第 45 回全国アマチュアオーケストラフェスティバル刈谷大会」に BDLO から 10 名(予定)の参加者を受け入れます。

また、NPO-WFAO の協力を得て行う活動としては、例年同様「第 34 回トヨタ青少年オーケストラキャンプ」へアジア各国から参加者 10 名を受け入れる他、平成 28 年度に交流を開始した「韓国アマチュア音楽家協会」(KOAMA) からの要請を受け、KOAMA が平成 29 年 9 月に開催する「世界市民オーケストラフェスティバル」(WCOF) への参加者を募ります。

平成29年度 公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟

収支予算書（正味財産増減計算ベース）

（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

（単価：円）

科 目	平成29年度	平成28年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
（1）経常収益				
① 基本財産運用益	16,000	16,000	0	
基本財産受取利息	16,000	16,000	0	定期預金利息
② 受取入会金	60,000	30,000	30,000	
受取入会金	60,000	30,000	30,000	新規2団体
③ 受取会費	9,150,000	9,050,000	100,000	
正会員受取会費	7,100,000	7,000,000	100,000	新規2団体
賛助会員受取会費	2,050,000	2,050,000	0	24会員
④ 事業収益	14,120,000	12,409,000	1,711,000	
公1事業収益	14,120,000	12,409,000	1,711,000	入場料・参加料・広告料
⑤ 受取補助金等	26,500,000	24,215,000	2,285,000	
受取地方公共団体補助金	3,000,000	1,000,000	2,000,000	愛知県、刈谷市
受取民間助成金	23,500,000	23,215,000	285,000	トヨタ自動車、ガステックサービス 他
⑥ 雑収益	201,000	226,015	▲25,015	
受取利息	1,000	1,015	▲15	
雑収益	200,000	225,000	▲25,000	懇親会費
経常収益計	50,047,000	45,946,015	4,100,985	
（2）経常費用				
① 事業費	43,510,000	40,113,480	3,396,520	
役員報酬	3,290,000	3,000,000	290,000	
給料手当	3,860,000	3,640,000	220,000	
臨時雇用賃金	510,000	451,000	59,000	
福利厚生費	5,830,000	5,453,212	376,788	
会議費	700,000	786,378	▲86,378	
旅費交通費	10,900,000	9,495,212	1,404,788	
通信運搬費	1,180,000	908,194	271,806	
消耗品費	1,260,000	861,519	398,481	
印刷製本費	1,120,000	1,333,004	▲213,004	
光熱水料費	150,000	140,000	10,000	
賃借料	6,500,000	5,920,014	579,986	
保険料	50,000	50,000	0	
諸謝金	7,550,000	7,468,229	81,771	
広報費	200,000	182,000	18,000	
雑費	410,000	424,718	▲14,718	

科 目	平成29年度	平成28年度	増 減	備 考
② 管理費	6,815,000	6,665,000	150,000	
役員報酬	820,000	750,000	70,000	
給料手当	1,310,000	1,210,000	100,000	
会議費	800,000	810,000	▲10,000	
旅費交通費	1,500,000	1,500,000	0	
通信運搬費	300,000	350,000	▲50,000	
消耗品費	100,000	100,000	0	
印刷製本費	240,000	240,000	0	2017年度版JA0関係資料
光熱水料費	60,000	60,000	0	
賃借料	850,000	850,000	0	
保険料	35,000	35,000	0	労働保険料
租税公課	300,000	340,000	▲40,000	
雑費	500,000	420,000	80,000	
経常費用計	50,325,000	46,778,480	3,546,520	
当期経常増減額	▲278,000	▲832,465	554,465	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	▲278,000	▲832,465	554,465	
一般正味財産期首残高	8,413,072	9,325,537	▲912,465	
一般正味財産期末残高	8,135,072	8,493,072	▲358,000	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	44,400,000	44,400,000	0	
指定正味財産期末残高	44,400,000	44,400,000	0	
III 正味財産期末残高	52,535,072	52,893,072	▲358,000	

平成29年度 公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟

収支予算書内訳表（正味財産増減計算ベース）

（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

（単価：円）

科 目	公益事業会計 （公1事業）	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
（1）経常収益			
① 基本財産運用益	16,000	0	16,000
基本財産受取利息	16,000	0	16,000
② 受取入会金	0	60,000	60,000
受取入会金		60,000	60,000
③ 受取会費	0	9,150,000	9,150,000
正会員受取会費		7,100,000	7,100,000
賛助会員受取会費		2,050,000	2,050,000
④ 事業収益	14,120,000	0	14,120,000
事業収益	14,120,000		14,120,000
⑤ 受取補助金等	26,500,000	0	26,500,000
受取地方公共団体補助金	3,000,000		3,000,000
受取民間助成金	23,500,000		23,500,000
⑥ 雑収益	0	201,000	201,000
受取利息	0	1,000	1,000
雑収益	0	200,000	200,000
経常収益計	40,636,000	9,411,000	50,047,000
（2）経常費用			
① 事業費	43,510,000		43,510,000
役員報酬	3,290,000		3,290,000
給料手当	3,860,000		3,860,000
臨時雇用賃金	510,000		510,000
福利厚生費	5,830,000		5,830,000
会議費	700,000		700,000
旅費交通費	10,900,000		10,900,000
通信運搬費	1,180,000		1,180,000
減価償却費	0		0
消耗品費	1,260,000		1,260,000
印刷製本費	1,120,000		1,120,000
光熱水料費	150,000		150,000
賃借料	6,500,000		6,500,000
保険料	50,000		50,000
諸謝金	7,550,000		7,550,000
広報費	200,000		200,000
雑費	410,000		410,000
② 管理費		6,815,000	6,815,000
役員報酬		820,000	820,000
給料手当		1,310,000	1,310,000
会議費		800,000	800,000
旅費交通費		1,500,000	1,500,000
通信運搬費		300,000	300,000
減価償却額		0	0
消耗品費		100,000	100,000
印刷製本費		240,000	240,000
光熱水料費		60,000	60,000

科 目	公益事業会計 (公1事業)	法人会計	合 計
賃借料		850,000	850,000
保険料		35,000	35,000
租税公課		300,000	300,000
雑費		500,000	500,000
経常費用計	43,510,000	6,815,000	50,325,000
当期経常増減額	▲2,874,000	2,596,000	▲278,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
什器備品廃棄損			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	
当期一般正味財産増減額	▲2,874,000	2,596,000	▲278,000
一般正味財産期首残高	1,457,670	6,955,402	8,413,072
一般正味財産期末残高	▲1,416,330	9,551,402	8,135,072
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	44,400,000	0	44,400,000
指定正味財産期末残高	44,400,000	0	44,400,000
III 正味財産期末残高	42,983,670	9,551,402	52,535,072